

②モニターツアー実施で得られた課題

関東圏からの参加者には比較的好評を得た。しかし、札幌からの参加はそれほど高くない評価となっている（札幌からの参加者にとっては、乳業およびバター作りが真新しいものではないことがその要因として考えられる）。

③誘致に向けた改善点

- ・道内、道外別のメニューの立案

(11) 北方四島交流センター

①施設の概要

北方領土問題についての啓発と、北方四島（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）交流の拠点施設として根室市に建設され、平成12年2月7日「北方領土の日」にオープン。

センターでは、北方四島の歴史、生活、文化や四島との交流、返還要求運動の状況などについて、最新の映像機器やコンピューターを駆使し、分かりやすく紹介。

開館時間は、午前9時～午後9時（展示部分は午前9時～午後5時）。休館日は月曜日（5月～10月は無休）年末年始（12月31日～1月5日）



②モニターツアー実施で得られた課題

施設の充実度、収容人数など総合的に見て好評を得ており、修学旅行先として必須となる施設に位置づけられる。元島民Ⅲ世のガイドの説明も好評であった。また、講堂は一定規模以上の学校であっても、一度に集合できる大きさを有していることから、この部分の有効活用が望まれる。

③誘致に向けた改善点

- ・講堂の有効活用

(12) 元島民の講話

①施設の概要

出前式講座であるため、場所・時間は相談可能。



②モニターツアー実施で得られた課題

島での生活、退去の様子、戦後の生活、島への思いなど、時系列で内容を組み立てる必要がある。例えば、2世・3世を司会者（1世への質問者）として、内容がぶれないよう、また、事実関係を補完するような進め方をする方法も考えられる。同時に、当時の映像を流すなど視覚的にも分かりやすくすれば学習効果は高いと考える。

③誘致に向けた改善点

- ・ 全体の話しの流れの構成
- ・ 進め方の検討（司会を使う、質問形式など）
- ・ 写真や映像の同時活用